

フォトキナ - イメージング アンリミテッド

会期：2018年9月26-29日

ドイツ写真工業会 (PIV) 専務理事 クリスチャン・ミュラーリーカー

「写真とイメージング産業—新しい戦略領域に焦点」

フォトキナを共同開催するドイツ写真工業会/イメージング・アソシエーションの専務理事として、皆様をフォトキナの記者会見に心より歓迎します。

すでに Hamma 氏や、Werner 氏からは、「フォトキナ 2018+」のコンセプトに関する話がありました。この新しいアプローチで業界の将来のテーマや成長分野に焦点を当て、フォトキナをこの業界を主導する国際見本市として拡大強化する路線へと、舵を切ることができたと確信しています。

フォトキナは世界をリードする見本市として、数十年にわたりイメージング産業の状況を反映し続けてきました。デジタル技術への転換により、業界は驚異的なスピードで変化しています。業界の状況を反映し、未来に向けたインスピレーションの源泉としての役割を十分に果たすためには、フォトキナも進化しなければならなかったのです。

新しいコンセプトは、まさにそのために作られました。デジタル世界の真の姿：それは、イメージングがあらゆる場所に存在する世界です。映像のキャプチャ、映像情報によるコミュニケーションなどが、イメージングの生態系全体をカバーしています。

この事は、消費者市場だけでなく数限りないビジネスに影響を与えます。それは私たちが朝スマートフォンで、友達が夜のうちに送ってきた写真を見ることから始まり、一日の終わりにスマートホームで夕方の時間を楽しむ前に、高感度のリアカメラを使って車庫入れをするまで続きます。

世界をリードする見本市であるフォトキナは必然的に、イメージング・ソリューションがどのように人々の生活を豊かにし、イメージング業界に新しい成長の機会を開くのかを、示すこととなります。

私たちは今、イメージング産業やフォトキナを今後何年にもわたって変えていく、パラダイムシフトを経験しています。ネットワーキングや、先進的なハードウェア、ソフトウェア、サービスを組み合わせ、AI を採り入れることで、イメージング技術を使ったコミュニケーションの新しい可能性が急速に浮かび上がります。

具体例をいくつか示したいと思います。

自動車-新しい車種では、10台またはそれ以上のカメラを搭載することが標準になっています。

スマートシティ- 市街地での駐車スペース探しや、車の流れ、街路灯などは、イメージング技術で制御されます。

製造業について考えてみましょう。高性能カメラや画像分析ソフトを使い、画像処理技術で製品表面の質を検知し、製造プロセス内で仕様からはずれたものが見つかるかと警告します。ドイツにおけるこのような技術の売上は、この10年で二倍以上に増えました。(VDMA ドイツ機械工業連盟調べ)

成長が続く理由の一つは、機械やロボットが「見る」ことを学習する際に、画像処理システムを使うことにあります。このキーテクノロジーは、古くからある製造業の世界的な自動化競争において使われるだけでなく、全く新しい産業分野をも制覇しつつあります。

イメージング技術によって、品質、信頼性、安全性、コスト効率を確実に向上させる事ができるのです。

もう一つの中心的テーマが**セキュリティ・システム**です。イメージング産業が提供するソリューションはこの分野にも大きな影響を与えていて、世界の防犯カメラの売上げだけを見ても、この市場の重要性が急速に高まっていることがわかります。

2018年には世界中のメーカー合計で、1億3000万台の防犯カメラが出荷される予定です。2006年には1000万台に過ぎませんでした(HIS Markitのデータ)。成長の牽引役は、デジタル化とネットワーク化です。ネットワーク・カメラは遠隔アクセスが容易で画質も良く、画像処理も簡単なので、以前のカメラに代わって使われるようになっています。このトレンドが、ネットワーク・カメラのパリユールチェーン全体に成長をもたらしているのです。この事は録画や画像ストレージシステム、画像分析ソフトウェア、ビル全体を自動化するソリューションへの需要を後押ししています。

医療: 最新の画像技術を抜きにした医療は考えられません。AR(拡張現実)技術は医療プロセスにますます採り入れられるようになり、診断や手術の際に医師をサポートします。

次に**ロボティクス**、特に家事ロボットについて考えてみましょう。ロボットは私たちの日常をサポートするため、カメラや画像処理という形の高度な視覚能力を必要とします。

また今後数年間は、**クラウドサービス**も世界的に大きく成長する可能性があるでしょう。

フォレスター・リサーチは、この市場全体で年平均22%成長する可能性があるとし、2020年の市場規模は2360億ドルと予測しています。

このほかの重要な成長分野としては**AR**と**VR**があり、「Digility」を並行開催する2018年のフォトキナでも重要なテーマです。

現在AR市場は初期段階にあります。調査結果によれば、今後数年の間はARにVRよりも大きな成長のポテンシャルがあるということです。スマートグラスはB2B市場でビジネスを確立しました。今後この製品の重要性は、B2Bマーケ

ットだけでなく、B2C マーケットでも増大すると思われます。

次に**動画**市場を見てみましょう。動画コンテンツはソーシャルメディアの様々なチャンネルに取り込まれており、世界的に動画の消費は増えていくでしょう。

さて、産業界および 2018 年のフォトキナで最も重要なトピックである **AI**、**人工知能**に話を移しましょう。AI はイメージ・キャプチャからアウトプットまでの様々な分野で使用されるようになり、多くのイメージング・プロセスに革命をもたらすでしょう。

人工知能は将来のデジタル経済のキーとなる要素であるだけでなく、デジタル経済の成長の牽引役であり、その市場規模は数十億ドルに達するでしょう。

経済アナリストによる世界市場の推定はまだ出ていませんが、市場の規模はわかってきました。もし予想が正しいとすれば、AI だけに起因する 2030 年までのドイツの国内総生産の伸びは 11.3%とされ、4300 億ユーロ増加する見込みです。PWC の予想では、世界で最も AI の恩恵を受ける国は、中国、日本、アメリカだということです。AI によって中国経済は 25%以上の成長を遂げるとされ、日本とアメリカではほぼ 15%の成長が見込まれるということです。

今日すでに、AI は使われるようになっています。例えばアメリカいくつかの大学の研究者は、野生動物の自然の生態を邪魔することなく、簡単かつ迅速に野生動物をモニタリングできるシステムを開発しました。この目的を達成するため、専門家たちは AI と機械学習の手法を組み合わせ、写真やビデオを使って、人間の介入なしでセレンゲッティ国立公園のライオンや象を特定し、数を数えるシステムを構築しました。この方法の精度は 96.6%で、画像の 99.3%を判別する事ができました。

動画においても、今日 AI はすでに大きなテーマです。例えば 5 分の動画シーケンスを、ソフトウェアを使って決まった長さ、例えば 3 分に自動的に編集することが可能です。

これまでの私の話では、戦略的な成長分野に焦点をあててきました。

これ以降は、カメラとスマートフォンの世界の動向に関する事実情報、特に B2B ビジネスにとって重要であり、イメージングに付加価値をつけるプロセスのベースとなる情報をお伝えします。

世界のカメラ市場：底固めとシステムカメラの需要増加

2017 年のカメラ市場は、世界中で似た傾向がありました。2016 年は市場全体で 17%マイナスでしたが、2017 年はわずか 4%のマイナスでした。これは大きな成果と見る事ができるし、そのように見なければいけないと思います。

コンパクト・システムカメラの需要は、世界中で増えています。調査会社 GfK によれば、この傾向は 2018 年の前半期、

調査対象の国々の大半で続くということです。

2018年のカメラ販売は、全体としてはポジティブに評価できると思います。世界のアマチュアユーザーもプロユーザーも、高レベルの画像技術にこれまで以上に強い関心を持っています。プレミアムモデルがイノベティブな機能を提供したことで、2017年から2018年はじめにかけて、ユーザーはハイレベル機器に大きな関心を寄せました。

カメラだけでなく様々な機器の平均価格が上昇したことは、技術的に妥協したくないところでは品質に対する意識が高まっていることを示しています。現在のプレミアムカメラはすべて、ワイヤレス転送モード、クラウド機能、ソーシャル・シェアリングを標準装備しており、カメラは単なる記録デバイスにとどまらず、ユーザーにスマートイメージングの世界を開いてくれるものなのです。

カメラがスマートフォンやテレビと「話す」だけでなく、デジタル・ネットワーキングの中に取り込まれるようになると、次の段階である**スマートイメージング**の世界に進みます。スマートイメージングは、セキュリティや医療のアプリケーションですでに成果をあげています。

それでは次に、スマートフォン市場の動向についてお話します。

世界のスマートフォン市場：需要は下落も売上額は上昇

2018年第1四半期の世界のスマートフォン需要は、前年の同じ四半期に比べ減少しました。市場の飽和が進む中で、これは意外なことではありません。他方でユーザーはスマートフォンブランドの最新のイノベーションを喜んで受け入れ、より高価なモデルを購入する傾向があります。その結果、平均販売価格は374ドルと21%も上昇し、世界全体の売上げは前年比で18%伸びました。スマートフォン業界は、2018年の世界の販売台数は15億と見ています。

アジアの工業国(オーストラリア、香港、日本、ニュージーランド、シンガポール、韓国、台湾)のスマートフォンの売上げは、前年比で13%増えて124億ドルになりました。この背景には、平均販売価格が16%上昇し、707ドルになったことがあります。2018年の第1四半期の台数で見た需要は、前年比で3%落ちて1760万台でした。オーストラリアの需要は前年比で22%増と大きな伸びを見せましたが、韓国がマイナス16%だったため相殺されました。

カメラ市場とスマートフォン市場のこのような状況は、イメージングを中心とする業界全てに当てはまるものです。

私たちは皆、ビジュアルクリエイターです。画像で考え、生活し、行動します。イメージングは私たちの感情や情熱に訴え、これが変わることはないでしょう。

そろそろ、結びに入りたいと思います。

写真メディアのアプリケーションの可能性が、今ほど多様だったことはありません。カメラ、スマートフォン、ソフトウ

エアなどのメーカーは、イメージングのエコシステムの主な牽引役です。これらの会社はテクノロジーの新分野に進出し、新しい市場を開拓します。彼らのイノベーションは、イメージの重要性を新たな地平に引き上げ、私たちの業界に新しいビジネスモデルを作り出します。

ケルンでこの秋に開かれるフォトキナ 2018+は、私たちの産業に持続的成長を約束する限りないイメージングの世界に、皆様を導きます。